



## 人口割合の変化を見る…紀の川市編

わかつく第290号で、和歌山市42地区ごとの年少・生産・高齢人口割合の変化をご紹介しましたが、今回は紀の川市の変化をご紹介します。紀の川市は人口減少が続いており、転入者や交流人口の増加が急務となっていますが、地域ごとにみると年齢構成はどうなっているのでしょうか。

**人口動態は地域差が大きい結果に**  
紀の川市の人口は過去の「わかつく」でも取り上げた通り、減少が進んでいます。しかし、旧5町ごとにみますと、打田地域に関しては概ね横ばい。しかし他の4地域は10年間でおよそ10～18%の減少となるなど、市内でも差がみられます。

校区ごとにみますと、10年間で人口が増加しているのは田中小学校区のみ。人口が少ない校区では減少幅が大きく、瀬川小学校区が減少。特に生産人口

の減少が続いており、現在のわかやま電鉄の利用人員増加は難しい局面に置かれていることも読み取れます。

3地区のみ。ほとんどの校区で高齢化率は30%前後と大きな差がありません。一方、年少人口割合は多くの地区で10%を割り込んでいます。10%を上回っている地域も打田を除いて年々減少傾向が続いている実情が垣間見えます。

このように紀の川市では、ほぼ全的に広がる人口減少と高齢化への対策、そして他の4地域と大きく傾向が異なる打田地域の人口構造を見据えた対応が求められるものと思われま

	2010年				2015年				2020年			
	年少人口	生産人口	高齢人口	合計	年少人口	生産人口	高齢人口	合計	年少人口	生産人口	高齢人口	合計
打田地域	2,088	9,666	3,733	15,487	2,151	9,141	4,206	15,498	2,113	8,685	4,520	15,318
田中	1,182	5,301	2,163	8,646	1,246	5,140	2,467	8,853	1,209	4,835	2,660	8,704
池田	906	4,365	1,570	6,841	905	4,001	1,739	6,645	904	3,850	1,860	6,614
粉河地域	1,623	8,194	4,433	14,250	1,235	7,155	4,621	13,011	1,037	6,096	4,564	11,697
長田	319	1,710	782	2,811	248	1,482	855	2,585	209	1,312	933	2,454
粉河	823	3,715	2,028	6,566	634	3,382	2,100	6,116	528	2,904	1,992	5,424
竜門	241	1,445	756	2,442	190	1,239	760	2,189	180	1,019	774	1,973
川原	196	1,042	589	1,827	133	840	633	1,606	104	702	620	1,426
瀬川	44	282	278	604	30	212	273	515	16	159	245	420
那賀地域	896	4,534	2,339	7,769	764	3,899	2,405	7,068	607	3,360	2,455	6,422
上名手	139	957	563	1,659	123	780	561	1,464	91	624	588	1,303
名手	556	2,890	1,346	4,792	493	2,550	1,382	4,425	447	2,250	1,394	4,091
麻生津	201	687	430	1,318	148	569	462	1,179	69	486	473	1,028
桃山地域	936	4,368	2,192	7,496	860	3,950	2,363	7,173	730	3,526	2,322	6,578
安楽川	706	3,358	1,850	5,914	634	3,019	1,945	5,598	528	2,663	1,916	5,107
調月	230	1,010	342	1,582	226	931	418	1,575	202	863	406	1,471
貴志川地域	2,986	13,435	4,256	20,677	2,516	12,054	5,068	19,638	2,066	10,773	5,588	18,427
丸瀬	461	2,275	730	3,466	397	2,075	788	3,260	323	1,808	859	2,990
西貴志	1,140	4,991	1,567	7,698	959	4,431	1,901	7,291	812	3,998	2,124	6,934
中貴志	886	3,947	1,191	6,024	783	3,620	1,485	5,888	661	3,286	1,658	5,605
東貴志	499	2,222	768	3,489	377	1,928	894	3,199	270	1,681	947	2,898
紀の川市全体	8,529	40,197	16,953	65,679	7,526	36,199	18,663	62,388	6,553	32,440	19,449	58,442

【集計方法】2010年・2015年・2020年の国勢調査の小地域集計結果に基づき、紀の川市各地区の人口を小学校区ごとに分類してわかつく編集部が独自に集計しています。同じ地区が複数の小学校区に分かれているところがありますが、校区ごとの人口按分が困難なため、主となる校区に一括して計上しています。実際の小学校区の人口とは異なる地域がありますのでご注意ください。

## シンポジウム 人と人のつながりが実感できる居場所づくり

新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に生活困窮者の増加や、孤立・孤独が大きな影を落としています。SDGsの大切な視点である「誰一人取り残さない」社会づくりの重要性がますます高まり、全世代対応型の居場所づくりへの期待が高まっています。社会的弱者を支えることの意義のほか、孤独・孤立対策、命を守る活動の拠点として、多様な年齢層を守る居場所としての活動の可能性を探ります。

日時 9月11日(日) 13:00～16:00  
場所 和歌山ビッグ愛 9階会議室 A+ZOOM 配信  
参加費 無料(右のQRコードからお申し込み下さい)  
定員 会場30名、オンライン30名



講演 「全世代対応型の居場所は地域のインフラ、準自治会の役割を果たす。」

講師 湯浅 誠さん(東京大学先端科学技術研究センター特任教授、認定特定非営利活動法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ理事長)



### パネルディスカッション

- パネラー・・・岡 定紀さん(NPO法人子ども食堂わかやま理事長)、久保田 泰造さん(和歌山中央医療生活協同組合副理事長)、佐藤 昌吾さん(一般社団法人はしつ子えがおサポートばれり理事長)、田中 那津美さん(すさみ町教育委員会集落支援員 すさみ町多世代交流施設'E' cora)、樋川 守さん(新宮市民生児童委員)、湯浅 誠さん(50音順)
- ファシリテーター・・・志場 久起(認定NPO法人わかやまNPOセンター理事長)

主催 認定特定非営利活動法人わかやまNPOセンター(073-424-2223・info@wnc.jp)  
共催 近畿労働金庫  
後援 和歌山県、公益社団法人和歌山県労働者福祉協議会、和歌山県生活協同組合連合会  
本事業は、近畿労働金庫と関西各地のNPO支援機関が連携してSDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」社会づくりに向け取り組むを進める「近畿ろうきんNPOパートナーシップ制度」の一環で開催します。



## 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより

### 学習会 | まちなか百姓養成塾

日時 9月21日(水) 18:30～20:00  
場所 和歌山市地域フロンティアセンター(フォルテワジマ6階)

主催 わかやまイネ!プロジェクト  
waiprojimu@gmail.com  
<https://wakayamaiine.wordpress.com/>

対象 野菜作りなど農業に関心がある人

内容 秋野菜の栽培について学びます

参加費 資料代500円

定員 20名(前日までに申し込み必要。なお、定員に余裕があれば、当日参加を受け付けます)

※このコーナーでは「和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会」に参加している各団体から提供されたイベント情報を不定期にお届けしています。